

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2025年 5月 18日 (日)

14:00 ~ 15:00 事例発表

15:00 ~ 15:30 教育最新事情

プログラム Zoomによるオンライン開催(参加費無料)

14:00~14:30 事例発表 1

教室で数学文化を育む – 2年はこの形の実践を中心に –
佐々木 三央 (京都教育大学附属京都小中学校 教諭)

14:30~15:00 事例発表 2

生成AIの利活用からみる高校数学
吉田 耕平 (京都教育大学附属高等学校 教諭)

15:00~15:30 教育最新事情

子どもの認識を科学するとは？
黒田 恭史 (京都教育大学教育学部数学科 教授)

対象

小・中・高等学校教員、学生、一般 **定員100名**

申込先

URL(QRコード)にアクセスして
お申し込みください。 **申込締切：5月15日**

<https://forms.gle/wQ2NpUiWJHM1Q8Jf9>



問い合わせ

黒田恭史 (京都教育大学)
ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※5月16日(金)頃に参加方法の案内をメールで連絡します。

第26回

「これからの算数・数学教育を考える会」